

○意見

ページ	内容	対応
P2	（４）里山里海に育まれた「能登町ブランド」の確立 総合計画においても、豊かな里山里海を背景とした「祭り」、「暮らし」、「生業（なりわい）」を能登町ブランド資産として確立していくために、これらを地域の持続可能な発展のために、特に優先的に注力すべき分野や活動として<u>投資</u>していきます。 ※投資ということばの可否 取り組んでいきますでしょうか？	ご指摘を踏まえ、以下のとおり修正 （４）里山里海に育まれた「能登町ブランド」の確立 総合計画においても、豊かな里山里海を背景とした「祭り」、「暮らし」、「生業（なりわい）」を能登町ブランド資産として確立し、地域の持続可能な発展を<u>支える</u>ために、特に優先的に注力すべき分野や活動として<u>支援や推進</u>していきます。
P4	〈総合計画の構成の図〉 「能登町国土強靱化地域計画→施策別の取組」 掲載した意図がわかりにくいのでは。	一本化という意味で掲載しております
P8	③高齢者世帯が増加 欄について 2行目～4行目「また、能登町の…増えている状況となっています。」とありますが、この健康寿命は補完的指標としての算出方法のものなのであくまで参考として図表で示しても良いと思いますが、県と比べても当町の方が低いですし、この指標のみで「生涯活躍する高齢者が増えている状況」とは判断できないのではと思われます。 →提案：2～4行目の内容を削除しても良いのではと思います。	ご提案のとおり削除しました
P12	1 能登町の将来像 「自然の恵みと町内各地の多彩な地域コミュニティ（人のつながりや伝統文化）、<u>快適</u>な都市機能とを併せ持ったまちとして」 →「快適」がどんな意図をもって使われているのか、 快適な都市機能とは…何を指すのかと感じた。	
P12	②創造的復興に向けて力強いメッセージを発信する 大規模災害が起こると「災害は地域のトレンドを加速させる」と言われており、本来ならば5年後、10年後にくるはずだった人口減や高齢化率の上昇といった地域課題が一気に訪れることが懸念されています。 発災1年後の人口減少は従来の倍のスピードとなり、加速が確認されていることがわかっている。これを踏まえた文章とした方がよいのではないか。	ご提案のとおり加速化したことを踏まえ、以下のとおり修正 訪れることが懸念されています。→ 顕在化しています。実際に、発災後1年で人口減少は従来の倍の速度で進行しており、地域課題の深刻化が現実のものとなっています。

第3次能登町総合計画（基本構想）に対する意見等について（総合計画策定委員会委員分）

ページ	内容	対応
P13	主要指標の「町民幸福度」の算出方法を明記してある方がよいと思われる	「町民幸福度の算出」については別に掲載します
P14	（3）関係人口 「関係人口」の定義が必要と感じる。1万人単位の数値目標を入れる場合に、どの指標を用いるのかの検討も。定義が難しい中、何でも関係人口になると、関係人口の濃淡がかなり出てしまい施策も難しくなるように思われる。	関係人口ではなく、以下の通り設定 「ふるさと住民登録者数（R6年度基準）＋10%」 「町内会・集落と関係人口のマッチング数」
P14	3 土地利用の方針 「都市マスタープラン、立地適正化計画の方針を反映」となっているが、同プラン・計画はR8年度策定予定であることに注意が必要。	基本的な考え方のみを掲載とします
P15	④まちづくりの視点 ③暮らし 欄について P9の主要課題にも「高齢者も含め誰もが安心して住み続けられる」「長寿社会」の内容が含まれているので、P17のわたしたちが目指す能登町でも、それに関係してくる「医療や介護・福祉体制を整える」内容の記載もあれば良いのではないかと思います。 →提案：③暮らし 欄 1行目に「適切な医療や介護・福祉」を追加するのはどうでしょうか 美しく趣きある落ち着いた住環境のもと、 <u>適切な医療や介護・福祉</u> 、交通基盤や公共交通、…	ご指摘のとおり修正

第3次能登町総合計画（基本構想）に対する意見等について（総合計画策定委員会委員分）

○修正について

ページ	修正前	修正後
P2	(2)「つくる」から「つかう」総合計画への文中 「ありたいまち姿」	「ありたいまち <u>の</u> 姿」
P2	(5) 総合戦略及び人口ビジョン、国土強靱化地域計画の一体的推進の文中 「震災によって一気に <u>顕在化することが予想されています。</u> 」	「震災によって一気に <u>顕在化しています。</u> 」 ※理由は、例えば、震災による人口流失により、松波中学校の統合が早まったことなど、既に顕在化していると感じたためです
P3	(1) 計画の趣旨の文中 「 <u>8カ月後の9月21日から23日にかけて発生</u> した奥能登豪雨は」	「 <u>8カ月後に発生</u> した奥能登豪雨は」 ※理由は、P5にも同じもの掲載されていることもあり、日付までは不要と考え。
P3	① 計画の構成 総合計画を構成する内包計画として「第3期能登町創生総合戦略」（以下「 <u>総合戦略</u> 」という。）および「能登町強靱化計画」（以下「 <u>強靱化計画</u> 」という。）を一体的に策定します。	① 計画の構成 総合計画を構成する内包計画として「第3期能登町創生総合戦略」（以下「 <u>総合戦略</u> 」という。）および「能登町強靱化計画」（以下「 <u>強靱化計画</u> 」という。）を一体的に策定します。
P6	2.超高齢・人口減少対策と地方創生2.0の推進の文中 現在の <u>人口増加</u> を前提	現在の <u>人口減少</u> を前提
P6 P7	4.持続可能な開発目標（SDGs）の推進の文中 <u>2015（平成27年）年</u> (2) 能登町の特性と課題の文中 <u>平成17年（2005年）</u>	表記を統一した方がよい 和暦（西暦）に統一しました
P12	① 能登町誕生から積み上げてきたまちの歴史を受け継ぐ の文中 ・・・20年で積み上げてきたものを <u>活かす</u> 。 ② 創造的復興に向けて力強いメッセージを発信する の文中 そのため町民や事業者とともに町内外の様々なパートナーと連携し復旧・復興を力強く推進するために、これまでよりも分かりやすく、強い言葉で <u>表現する</u> 。	① 能登町誕生から積み上げてきたまちの歴史を受け継ぐ の文中 ・・・20年で積み上げてきたものを <u>活かします</u> 。 ② 創造的復興に向けて力強いメッセージを発信する の文中 そのため町民や事業者とともに町内外の様々なパートナーと連携し復旧・復興を力強く推進するために、これまでよりも分かりやすく、強い言葉で <u>表現します</u> 。 ※「ですます調」に統一する

第3次能登町総合計画（基本構想）に対する意見等について（総合計画策定委員会委員分）

ページ	修正前				修正後			
P12		<u>策定年</u>	<u>目標年次</u>	まちづくりの理念または将来像		<u>計画期間</u>		まちづくりの理念または将来像
	第1次	平成18年 (2004年)	平成27年 (2014年)	奥能登にひと・くらしが輝くふれあいのまち 一歩前へ進むまちづくり	第1次	平成18年度 (2004年)	平成27年度 (2014年)	奥能登にひと・くらしが輝くふれあいのまち 一歩前へ進むまちづくり
	第2次	平成28年 (2015年)	令和7年 (2025年)	人をつなぎ、地域をつなぎ、未来へつなぐ まちづくり 人づくりが礎となる未来への虹の架け橋 づくり	第2次	平成28年度 (2015年)	令和7年度 (2025年)	人をつなぎ、地域をつなぎ、未来へつなぐ まちづくり 人づくりが礎となる未来への虹の架け橋 づくり
	復興 計画	令和7年 (2025年)	令和14年 (2032年)	次世代が希望を持てる持続可能な <u>まち</u> 共に創る復興	復興 計画	令和7年度 (2025年)	令和14年度 (2032年)	次世代が希望を持てる持続可能な <u>まち</u> <u>づくり</u> 共に創る復興
					策定年とすると、計画終了年度と重なることから計画期間と記載した方が意図する 内容と合致すると考えるため			
P14	①基本的な考え方の文中 環境にやさしい <u>インフラストラチャー</u> の長寿命化				①基本的な考え方の文中 環境にやさしい <u>インフラ</u> の長寿命化 ※略語のインフラの方が、わかりやすいように感じるため。			